

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	兵庫県尼崎市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	尼崎市地域文化遺産活性化事業	【計画の改善時期】 平成30年度	
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>市民共有の貴重な財産である地域の文化遺産を調査・保存し、引き継いでいくとともに、これら地域の文化遺産の魅力を広く発信していくことにより、市民が地域の文化遺産に関心を持ち、市内に現存している数多くの文化遺産に親しみながら、地域への理解を深め、愛着を持ち、誇りを感じることができるよう地域を活性化していくため、次の観点に立った事業を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域の文化遺産を保存・活用するとともに、地域の文化遺産に関する情報を発信する。 2 地域の文化遺産に関心を持つ市民の学習機会や場所の充実など、ともに学びあえる環境づくりを進める。 3 住んでいる地域や尼崎市への愛着が育つように、地域の文化遺産の魅力を分かりやすくしっかりと伝える。 			
6 実施体制			
<p>尼崎市が、本実施計画に係る全体の企画・調整や補助事業に係る指導等を行う。 上記事務は教育委員会事務局社会教育部歴博・文化財担当が担当する。 各年度の補助事業は、当該年度の実行委員会等が実施する。</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成29年度交付決定額： 6,750 千円	平成30年度申請額： 9,295 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>市民が地域の文化遺産に関心を持ち、数多くの文化遺産に触れる機会を通して、理解と愛着を深めることができ、将来を担うこどもたちに地域の文化遺産をしっかりと伝えることができる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	尼崎市立文化財収蔵庫・尼崎市立田能資料館が実施する、収蔵資料を活用した展示会や市民向け歴史講座、児童向け体験学習会の実施等（自主事業）		
事業概要：	富松城跡を活かすまちづくり委員会が行っている富松城跡を活かしたまちづくり活動や、尼崎ボランティア・ガイドの会が行っている寺町等のガイドボランティア活動等（民間団体）		
事業概要：	江戸時代に尼崎城が所在した城内地区において、尼崎の歴史文化の拠点施設や公園等を、国土交通省の交付金を活用して整備する都市再生整備計画事業（他省庁等補助事業）		
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
現在、検討中である。			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	尼崎市教育委員会 社会教育部 歴博・文化財担当		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の文化遺産への来場者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	市内の観光客入込客数	関連事業:		事業③		
目標値 1 :	【現状値】 平成 28 年度 2,400,000 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 2,500,000 人					
設定根拠 1 :	毎年2,000人程度の観光客増があるものと想定					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 2 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 2 :	地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	尼崎市立文化財収蔵庫の年間入館者数	関連事業:		事業③		
目標値 2 :	【現状値】 平成 28 年度 20,000 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 25,000 人					
設定根拠 2 :	毎年1,000人程度の入館者増があるものと想定					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 3 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 3 :	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 3 :	歴史や文化財等に関するボランティア活動参加者数	関連事業:		事業②		
目標値 3 :	【現状値】 平成 28 年度 4,000 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 5,000 人					
設定根拠 3 :	毎年200人程度の参加者増があるものと想定					
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 4 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 4 :	地域に誇りを感じる住民の割合 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 4 :	尼崎の歴史に関心を持っている市民の割合 (尼崎市実施の市民意識調査結果に基づく)	関連事業:		事業①		
目標値 4 :	【現状値】 平成 28 年度 56 % ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 61 %					
設定根拠 4 :	毎年1%程度の上昇があるものとする。					
進捗状況 4 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
%	%	%	%	%	%	

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	丸嶋秋の例大祭映像記録作成事業					実施団体：	丸嶋秋の例大祭保存継承実行委員会				
事業区分：	記録作成					事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度				
事業概要：	丸嶋地区の例大祭における祭礼の状況や丸嶋地区地車修理の状況など、後世に伝承していくために必要な記録をDVD製作により行い、DVDを配布すると共にユーチューブ等の動画サイトで動画を広く公開する。										
評価指標区分：	・記録映像の貸し出し（又は利用）回数等					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	動画サイトの年間閲覧回数										
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 0 回 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 400 回										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
277 回	回	回	回	回	回						
69%											
事業②：	丸嶋秋の例大祭後継者育成事業					実施団体：	丸嶋秋の例大祭保存継承実行委員会				
事業区分：	後継者養成					事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度				
事業概要：	地域住民や子供達を対象に、丸嶋地区の祭礼や地車について講習会を行うと共に、お囃子の演奏体験・地車の曳行体験を実施し、祭礼や地車曳行を継承する担い手を確保・育成する。										
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	丸嶋保存会の会員数										
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 120 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 130 人										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
120 人	人	人	人	人	人						
0%											
事業③：	丸嶋地区地車復元修理及び修理現場一般公開事業					実施団体：	丸嶋秋の例大祭保存継承実行委員会				
事業区分：	用具等整備					事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度				
事業概要：	丸嶋地区で大切に継承している地車は、経年変化で傷みや歪みが目立ってきており、現状では今後継続的な安全曳行が難しいため、既存形式・寸法を踏襲して復元修復を行う。										
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	祭礼参加者（築地だんじり祭りにおける丸嶋地区からの参加者数）										
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 100 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 160 人										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
120 人	人	人	人	人	人						
33%											

